

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 (初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第16回】

「間小っ子ふれあいひろば」(放課後子ども教室)

栃木県小山市立間々田小学校長 室井松子

小山市教育委員会の御指導と御支援をいただき、平成19年9月19日より、「間小っ子ふれあいひろば」が毎週水曜日午後3時頃から開催されています。本校は昇降口を入ったすぐ前に250名程が収容できる「あじさいホール」があり、その近くには保健室・プレイルーム、階上に集会室・図書室もあります。また「修道館(体育館)」が2階建てになっており、1階部分に広いスペースがあります。本教室を実施するに適合した安全な広い空間が室内外に確保されています。

参加児童は現在165名(全校児童730名22.6%)で、その中には学童保育を受けている児童が38人(23%)参加しています。

実施については、放課後子どもプラン運営委員を中心に、放課後子ども教室スタッフやボランティアの方々により、子どもたちの発想を生かした様々な自由遊びを中心に、活動が展開されています。放課後子ども教室スタッフの中に、学習アドバイザーや安全管理員、毎回2名ずつの学童保育の指導員、サブスタッフ・外部講師等がいらっしやり、協力し合って指導にあたっています。

子どもたちの活動の中で「竹馬・一輪車・フリスビー・折り紙・将棋」等は回を重ねるうちに子どもたちの技能も高まり、どの子も達成感を味わっています。また図書室での読書・自由学習、プレイルームでの映画視聴などもあり、豊かな気持ちを味わっているようです。

本教室への子どもの参加人数が増加傾向にあるため、今年度小山市教育委員会生涯学習課主催による「小山市学校支援ボランティア養成講座」が開催され、「間小っ子ふれあいひろば」の実体験をしていただき、活動していただけるボランティア参加者募集も行っていました。

これらの活動をとおして、子どもたちの放課後の安全安心な活動場所の確保や地域の方々の豊かな経験が、子どもたちの成長に生かされていると感じています。更に校外において、子どもたちがかかわってくださっている地域の方々とあいさつを交わしたり声掛け合ったりしています。「放課後子ども教室」開設により、今まで以上に、地域ぐるみで子どもたちの心身共に調和のとれた人間形成に大いに貢献していただいていると感謝しているところです。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第109号に掲載)